

# エアロゾルの気候影響に関する数値シミュレーション

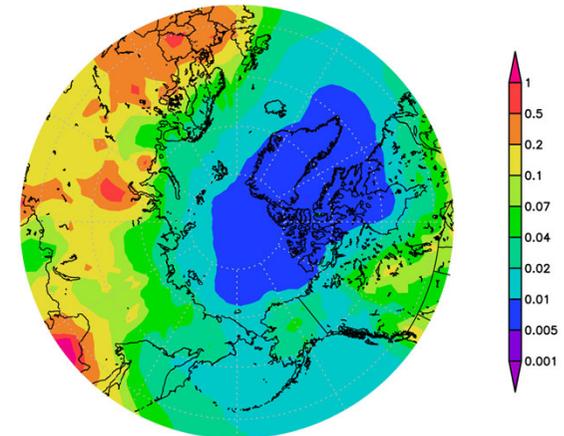
名古屋大学 大学院環境学研究科 松井 仁志

目的 エアロゾルの時空間分布と気候影響を予測する。

内容 大気中の微粒子（エアロゾル）の北極域における時空間分布やその放射・雲過程への影響を予測した。

結果 ブラックカーボン（黒色の炭素粒子）や氷晶核（固体の雲粒を形成する微粒子）について、北極域における過去30-40年間の空間分布や時間変化を明らかにするための数値シミュレーションを行った。

利用した計算機 SQUID 汎用CPUノード群  
ノード時間 23,347 時間  
並列化 8ノード 並列



北極域のブラックカーボンの地上質量濃度 ( $\mu\text{g m}^{-3}$ )